

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

623-339

事務事業名	公害測定事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	1	5	12	1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	53 環境汚染の防止												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間		年度～	年度	関連計画 条例等		飯田市環境基本条例 21 いいた環境プラン					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内の生活環境	市内で騒音、臭気等測定を実施した箇所数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			28		28	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	騒音、悪臭等の状況を把握し、環境施策立案の参考とする。	21 環境プランで設定した目標数値以下の測定箇所数 (21 環境プランで目標値が設定されている箇所数 27箇所)	18目標	15	最終目標	27
			18実績	17	19目標	18
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標	14	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	定点観測による実態把握 <参考> 細々目名:騒音・悪臭その他公害防止対策費 定点観測を実施し、騒音・悪臭等の実態を把握します。観測結果は環境レポートにより公表します。	21 環境プランに基づいた測定を実施しました。 騒音測定の実施 19箇所(一般地域12箇所、道路に面する地域7箇所) 臭気測定の実施 9箇所	測定実施箇所数	28
	18年度の実績	21 環境プランに基づいた測定を実施します。 騒音測定の実施 19箇所(一般地域12箇所、道路に面する地域7箇所) 臭気測定の実施 9箇所	測定実施箇所数	28
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	2,294	2,281
事業費計(A)	2,294	2,281	
人件費	正規職員所要時間	18年度 60	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	215	0
	トータルコストA+B	2,509	2,281

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	身近な環境の変化を調査・公表し、監視をしていくことで市民に安心を与えます。また、定点観測で得た資料を基に施策を立案していくことで、騒音・悪臭等公害の無い地域を目指します。	市民アンケート調査による生活環境の満足度(%)	現状値	60	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	67
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>安全なまちづくりの実現に向けた取り組みとして、21 環境プランで具体的な目標数値が設定され、その進行管理として騒音・臭気等を客観的数値として把握する必要がでてきた。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>農地・原野であったところが開発され、住宅地・商業地などに変わってきている。道路整備が進み、交通の流れにも変化が見られる。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>市民生活を取り巻く環境の変化については、行政として状況を把握し、有効な手立てを講じてほしいという要望がある。</p>
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>定期的に観測をし、その結果を公表することにより周辺住民に安心感を与えることになる。自動車等を使用する市民や悪臭が発生する恐れのある事業者等に啓発を行うことにもなり、公害防止に役立つ。</p>	有効性 評価	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>道路環境の改善。市民、事業者に注意を喚起することで、発生原因の減少を図る。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がある (その理由)</p> <p>道路整備状況等周辺環境の変化に合わせ、測定規模、測定箇所数を見直す必要がある。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>21 環境プラン実現のための客観的資料がなくなり、地域の実情に合った施策が策定できなくなる。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>21 環境プランに従い、事業を実施するもので意図を見直す余地はない。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)</p> <p>県でも同様な観測はしているが、飯田市内の測定場所は少なく、市独自で測定する必要がある。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>市内全域の市民生活に関わることであり、また、観測データは21 環境プラン実現のための客観的資料として必要であり、市が実施する必要がある。</p>		<p>効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>現状では事業費、人件費を削減するためには測定件数を減らすしかなく、その場合行政で把握するデータが減ることになる。</p>
			公平性 評価	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>21 環境プランに基づき測定を行っており、結果を広く市民に公表しているため、市が実施・負担するのが妥当である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>道路整備状況等周辺環境の変化に合わせ、測定規模、測定箇所数を見直しをしていく。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>道路の整備状況等を把握する必要がある。</p>
---	---

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	